

事業の背景・目的

愛知県碧南市内の堀川において、平成30年12月に特定外来生物に指定されているスパルティナ属が生息していることが確認された。翌年3月に愛知県主催の対策会議に参加し、防除に向けた検討を開始した。本種の他地域への拡散防止のため、初期段階での早急な対応が必要であると考え、3月及び4月に小段部を中心に人力による防除を実施した。河床部については、地下茎や根に河床の粘着質のヘドロが固着しており、人力による防除が困難であると判断した。本事業を実施することにより、スパルティナ属の拡散防止と根絶を図りつつ、持続的な生態系の貢献のために防除対策に取り組むものである。



人力による防除状況



小段部の状況



河床部の状況

事業の内容

スパルティナ属の防除対策業務委託を発注し、9月26日より重機等による掘取りと護岸のモルタル補修を実施した。

また、3月、4月に人力による防除を実施した箇所の経過観察を行い、一部再生箇所の防除を行った。



護岸のモルタル補修状況



草刈り状況



重機による掘取り状況

得られた成果

本事業により、堀川におけるスパルティナ属の防除を実施し、事業の目的であるにすべての防除が完了した。

今後は堀川におけるスパルティナ属の根絶に向けて、愛知県や西三河南部生態系ネットワークなど関係機関を始め、地元市民と連携しながら監視を継続し、新たに生息が確認された場合は、原因を見極め、速やかに防除対策を実施する。



事業着手前



事業完了後